

理念・構想

山梨大学の教員養成に対する理念・構想

「広い知識と深い専門性」に裏付けられ、さらに教師としての実践的力量、すなわち実践的教育力を地域（山梨県）の教育事情と現場体験に即して手厚く育成することが、本学の教員養成に対する理念である。それは、「地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する」という本学の理念・目標の一環として、まさに社会に実際に貢献する教育分野における有為の人材を送り出すものである。

工学部の教員養成に対する理念・構想

工学科

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行う。

「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」をキャッチフレーズとして掲げ、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材の養成を目指す。

我が国の産業は、大量生産・大量消費の経済システムから脱却し、循環型社会を実現する。

SDGsの推進が必須な段階に既に移行してきており、それに伴い理工学系教育も、より高度・実質的かつ多面的な教育内容への転換が必要である。また山梨県においては、工業系高等学校の専攻科が設置され、より発展的な知識を有する理工系教員が必要となってきた。これらのことから、本学工学部工学科では、理科あるいは工業系教育に対応可能な、下記の能力や資質を備えた理工系教員の養成を目標としている。

- ・理工学系全般の基本的知識・科学的知見や情報科学の見識を有し、理工系の進学と就業を目指す生徒の個性を活かしながら創造力を育てる授業設計と学級運営を行うことができる。

- ・教育者としての職責を全うする強い責任感・倫理観と高い人格を有し、高いコミュニケーション能力や協調性により強い熱意と豊かで謙虚な包容力をもって生徒に接することができる。

- ・進化し続ける科学の発展において、常に教育者・指導者としての役割を担えるよう情熱と熱意をもち、生涯にわたって自分自身を高めていく継続的学修力を有する。

また、上記教員は以下の計画より養成される。

1年次では、主に全学共通教育科目の履修によって教員を志す目的意識の明確化を図り、さらに理科系教科に共通する基礎知識を学修する。

2年次では、引き続き基礎的知識の学修を行いつつ、情報通信技術の活用についても修得する。また、専門分野の発展的知識も修得する。

3年次では、専門分野の継続的な発展的知識や応用を学修し、さらにそれぞれの専門分野に即した教育法についても学ぶ。

4年次では、教員になるための具体的な経験や実践的な姿勢を学ぶ。

（高一種免・理科）

クリーンエネルギー化学コースおよび応用化学コースで開設する授業科目を中心に理科の基礎となる4つの領域（物理、化学、生物、地学）の基礎および各領域に関する実験科目、さらに各領域のより発展的な内容を含む選択科目を設定し、それらを履修させ、理科に関する専門的知識や技能を修得させることにより、理科教員としての高い専門性と素養を持つ人材を養成することを目的として、教職課程を設置する。

（高一種免・工業）

工学科の全コース（クリーンエネルギー化学、応用化学、土木環境工学、コンピュータ理工学、機械工学、メカトロニクス、電気電子工学）で開設する授業科目を中心に、工業の関係科目であるデータエンジニアリング基礎、品質管理概論と、さらに各コースのより発展的な内容を含む選択科目を設定し、それらを履修させ、工業に関する専門的知識や技術を修得させることにより、工業教員としての高い専門性と素養を持つ人材を養成することを目的として、教職課程を設置する。